

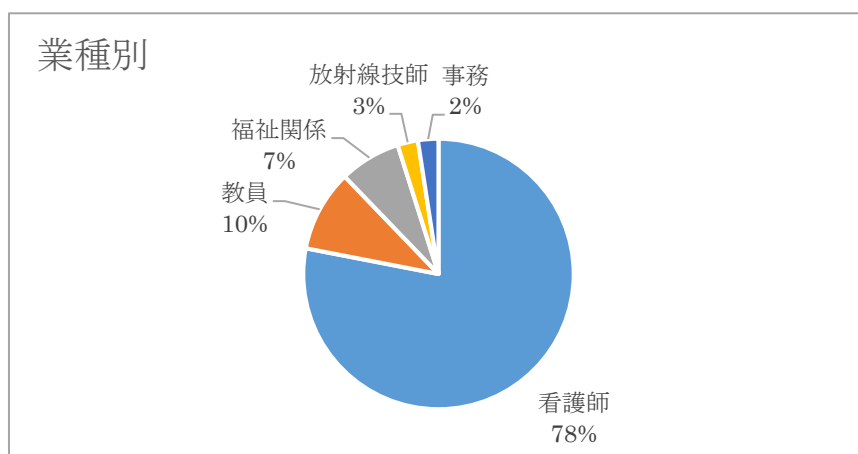
日本人間関係学会 東北地区会 広報

～第1回 東北地区会研修会報告～

テーマ「看護・介護とカウンセリング」

講師：東北薬科大学 杉山雅宏先生

10月5日（月）NTT 東日本東北病院にて、第1回 東北地区研修会を開催することができました。参加者は41名でした。参加業種は下記グラフをご参照ください。



<研修内容>

医療・福祉の現場における、マイクロカウンセリング技法を活かした人間関係づくり

院内で勤務後、白衣で参加されている受講者もおりました！！

時に笑いを交えての和やかな雰囲気ながら、熱心にメモを取る方々も多く見受けられ、その真剣さに関心の高さを実感いたしました。（感想より一部抜粋）

東北地区会長 より

東北地区会開催については、NTT東日本東北病院の鈴木看護部長はじめ、看護部スタッフの全面的な協力を得て、41名もの皆様に参加して頂くことが出来ました。本当にありがとうございました。

仙台に赴任して6年になります。不思議ですね。何も地盤がないこの地で、学会の地区会を立ち上げることが出来るわけですから。目には見えませんが、確かなつながり、あたたかい人間関係を実感しました。

これから少しずつですが、活動の輪を広げ、仲間を増やしていければと考えております。楽しみながら、勉強していきましょう。



東北地区会会長 杉山雅宏

研修後の感想より（一部抜粋）

- ▶ 「出会いはすべて見知らぬ人」という杉山先生の言葉から、出会いは全ての人に平等に与えられていますが、見知らぬ人を知っている人に変えていくことが人間関係作りの始まりであり、とても大切なことのように感じました。自分を育て、相手との人間関係を膨らませていくことが楽しみになりました。
- ▶ 医療現場で行われている何気ない患者と医療従事者のコミュニケーションを、マイクロカウンセリング技法というものを知ったうえで行うことによって信頼関係の絆が芽生え、より良い診療活動に繋がるということを理解できました。人間関係にとってお互いの尊重は基本重要な事です。今後実践してみたいと思いました。
- ▶ 人と人とのつながり、すなわち人間関係は人が生きている限り様々な形で遭遇します。身近な家族に始まり、友人や職場の人間関係に至るまで実に幅広い付き合いがあります。それぞれの関わり方によって、人はその距離を調整しながら付き合い合っているものですが、どの関係であっても信頼関係が大切であり、そしてそれは段階的に形成されていくということを今回杉山先生の講演で学ばせていただきました。

編集後記

今回の研修は東北地区会にて、初めての試みでした。NTT 東日本東北病院のスタッフ、学会員、参加者の皆様にご協力いただき、無事に開催することができました。心より感謝申し上げます。東北地区会のメンバーは、看護師、薬剤師、臨床心理士等、医療・心理系のみならず、外国文学や体育学の教員の方もおり、幅広い相互交流が可能です。今後も多方面の方々の参加が見込まれております。12月には地区会発足を記念し、会員交流会を企画しております。貴重な情報交換会になると思いますので、皆さんの参加をお待ちしております。

（事務局 越田）

【日本人間関係学会 東北地区会事務局 お問い合わせ】
東北薬科大学 心理学教室 mail : ningen_tohoku@yahoo.co.jp